

## 令和8年 卒業式 式辞

本日ここに、令和8年 海技大学校春季卒業式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな慶びであります。

保護者並びに関係各位の皆様におかれましては、平素より海技教育機構並びに海技大学校の船員教育・訓練にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

これまで卒業生を様々な面で支えてこられたことに対し深甚なる敬意を表すとともに重ねて深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

本日は、その教育内容、修学期間、年齢などが異なる3つのコースが卒業式を迎えました。これらのコースを巣立つ卒業生に対し、海技大学校教職員を代表し激励の言葉を贈ります。

海上技術コース航海専修、機関専修卒業生の皆さん、

皆さんは、海上技術短期大学校で修得した4級海技士の知識を基礎として、2年間、3級海技士に必要な知識、技術を学んできました。座学、実習、乗船訓練など、この2年間、決して毎日楽しいということではなかったかも知れませんが、その中で上級免許取得のため充実した学生生活を送られた皆さんの努力に対し心から敬意を表します。

皆さんは3級海技士と、航海と機関両方の4級海技士の資格を持つという、他の船員教育機関の出身者にはない特徴を有した海技者ということになります。その特徴も活かし、国内外の海運界において大いなる貢献をしていただくことを期待しています。

海上技術コース航海専攻、機関専攻卒業生の皆さん、

皆さんは大学や大学院で得た知識を基礎として、2年間、3級海技士に必要な知識・技術を学んできました。2年前の皆さんは、船の知識に関しては全く白紙の状態  
で船員という職業を選択し、大きな希望と少なからずの不安を胸に本校に入学してき  
たことと思います。その後、本校における座学、機構練習船・社船練習船における乗船  
実習を経て、2年前から成長したご自身が今ここにいることと思います。皆さんのたゆ  
まぬ努力に対し敬意を表します。

当コースの卒業生には、各船会社の運航する船舶において船長・機関長として、ある  
いは陸上業務において第一線で活躍する先輩達があります。皆さんもその先輩達に続き、  
船会社にとって重要な構成員の一人となるよう大きく成長して行くことを期待してい  
ます。

海技士コース3級航海、3級機関 卒業生の皆さん、

皆さんは現場で培った知識や経験を基礎として、4か月間、3級海技士に必要な  
知識、技術を学んできました。年齢やこれまでの海上経歴の異なる皆さんが、3級海技  
士免許取得という共通目的の下、航海、機関それぞれのクラスで、実務経験豊富な学  
生はその経験を活かし、また若い学生はその柔軟な理解力により、お互いに励まし合い  
ながら過ごしてきた4か月だったと思います。学校における勉強生活から離れて久しい  
方がほとんどである中で、その努力に対し心から深い敬意を表します。この海技士コー  
ス3級は、海技大学校創設のころから続いている再教育コースの一つです。その長い伝統  
ある教育課程の卒業生として、これまで以上にそれぞれの船会社で活躍されることを  
期待しています。

本日卒業するすべてのコースの皆さんは、来週から口述試験を控えています。口述試験では、本校でのこれまでの授業・実習を通して得た知識はもとより、練習船や学生寮での団体生活で得た、個人の成長が必ずや皆さんを合格に導いてくれると思います。自信を持って試験に臨んでください。

社会に出れば理想と現実の間に挟まれることがあると思います。また理不尽と感じることも多々あると思います。ですが、海技大学校卒業生として誠意と品格をもって乗り越えていただくことを切に願っています。

最後になりますが、今後の皆さんのご健勝とご活躍を祈念いたしまして本日の式辞といたします。

令和八年三月十三日

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 石倉 歩